

科目区分	基礎科目	科目名	生活と音楽		科目コード	17Y100	担当者	中澤 伸元				
対象学生	幼児教育学科2年生		学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	選択必修				
							免許・資格要件					
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。 音楽の基礎、楽典、音楽の必要性について学ぶ。							1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・創判造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	一般教養としての楽典などの音楽知識 楽譜の理解と音楽に対する興味関心度を高める						◎	◎	◎	◎	◎	◎
2.	何故よい声が出るのか？出せるのか？声には人柄、知性、意思が含まれている。声は意識次第でどうにでも変わ						◎	◎	◎	◎	◎	◎
3.	拍子感覚、リズム感覚を学ぶ						◎	◎	◎	◎	◎	◎
4.	表現することの喜びを身に付ける						◎	◎	◎	◎	◎	◎
5.							成績評価の方法と割合					
授業方法							定期試験（80%） 受講態度（20%）					
基礎音楽楽典の理解。表現することの楽しさを身に付ける。拍子の違いを体で体験する。リズムを感覚で感じる。音程の違いを理解し、自分の声で出せるようにする。ある程度理解できたら簡単な曲を作ってみる。												
準備学修							課題等への対応					
授業で理解したことを次回の授業まで復習しておくこと。15分で良いから毎日ノートを見て理解しよう。							試験、課題などはその都度評価し、アドバイスをを行う。					
授業計画												
第1回	授業内容の説明と日常生活における音楽の楽しみ方。自分と音楽レポート											
第2回	拍子の役割とは？ 知っている曲の拍子が変わればどんな感じになるのか？ 拍子の理解。拍子によって表現法が変わる。											
第3回	リズムの役割とは？ 曲のリズムを変えただけでこんなにも変わる。日常生活はリズムでできている。リズムでの感情変化の違いの学び。											
第4回	音程の役割とは？ 音程によって心の内なる感情表現が変わることの理解。音程を実際に声に出して学んでいく。											
第5回	曲を通して第2・3・4回の授業の理解と実技指導。											
第6回	音楽に必要な楽典、譜表、五線、音符の読み方。											
第7回	調号、符号、転調について											
第8回	速度、拍子でどう変わる？ 生活のテンポと意識。											
第9回	表現することの楽しみ方実践テクニック。表現とは音楽の中で生きていること。 意識(心)+肉体(感覚)+声(行動) = 表現											
第10回	イメージ作りの学び。空間にイメージを描く。曲を映像化する。 理想未来からの答え表現法											
第11回	イントロ拍子当て理解。 いろいろな曲を聴き、何拍子の曲か当てる。											
第12回	いろいろなリズムの組み合わせを作り、演奏を聴いて当て、納得力を得る。											
第13回	音程を使い、リズム、拍子を使いオリジナル曲を作る。 自分の作品を全員で歌う。											
第14回	質疑応答による総合まとめ授業。											
第15回	日常生活に必要な音楽を楽しむ。											
教科書・参考書							受講生へのメッセージ					
楽譜、プリント、五線ノート							日常生活で無意識に聞いている音楽への理解。基本知識を身に付け、より音楽を自分の生活の中に取り入れ癒され、おおいに楽しみ精神性を養いましょう。					